

ダムの事前放流②

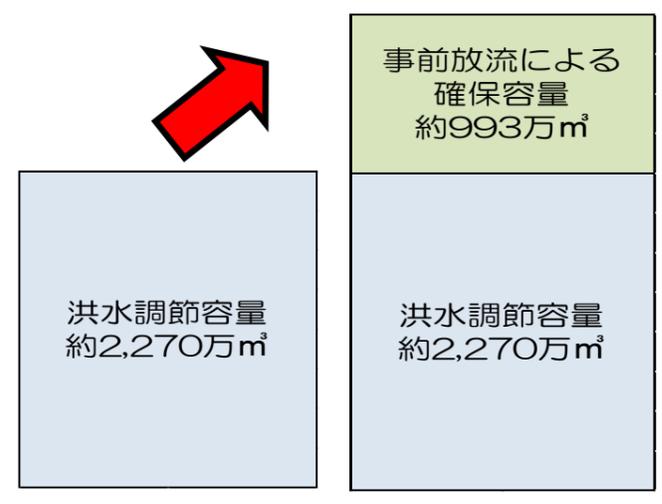
事前放流の効果



中尾ダム（所在地：長崎市）

非常用洪水吐き
 常用洪水吐き
 緊急・低水放流管
 （事前放流する管）

事前放流により
約1.5倍増加

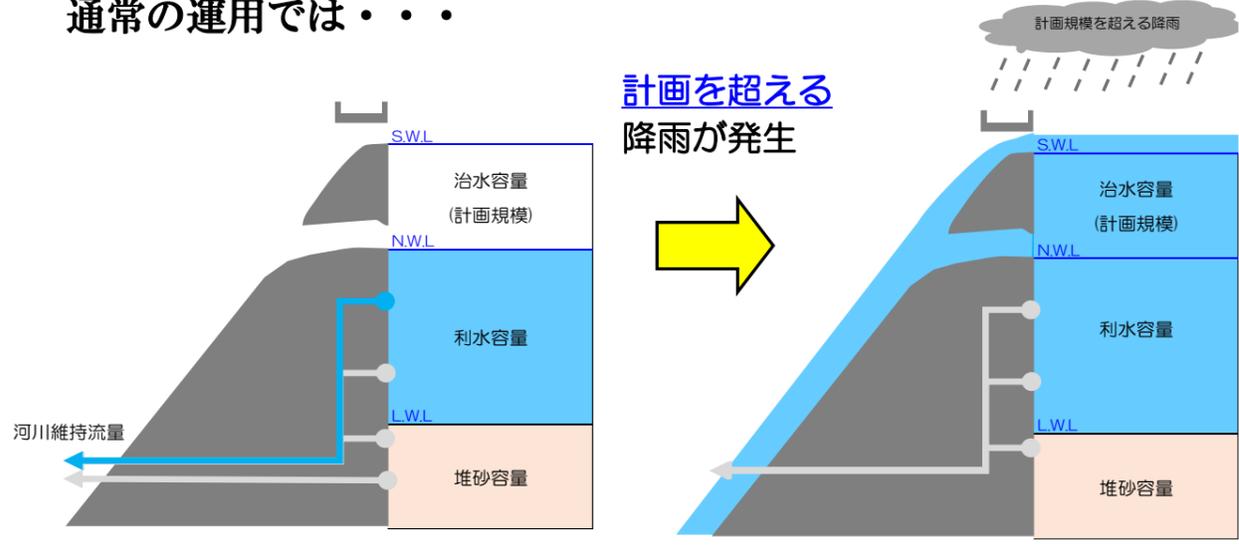


事前放流なし 事前放流あり
県管理35ダムの洪水調節容量

※35ダムは水道専用ダムや農業用専用ダムを除いたダム数

事前放流のイメージ（ゲート無ダムの場合）

通常の運用では・・・

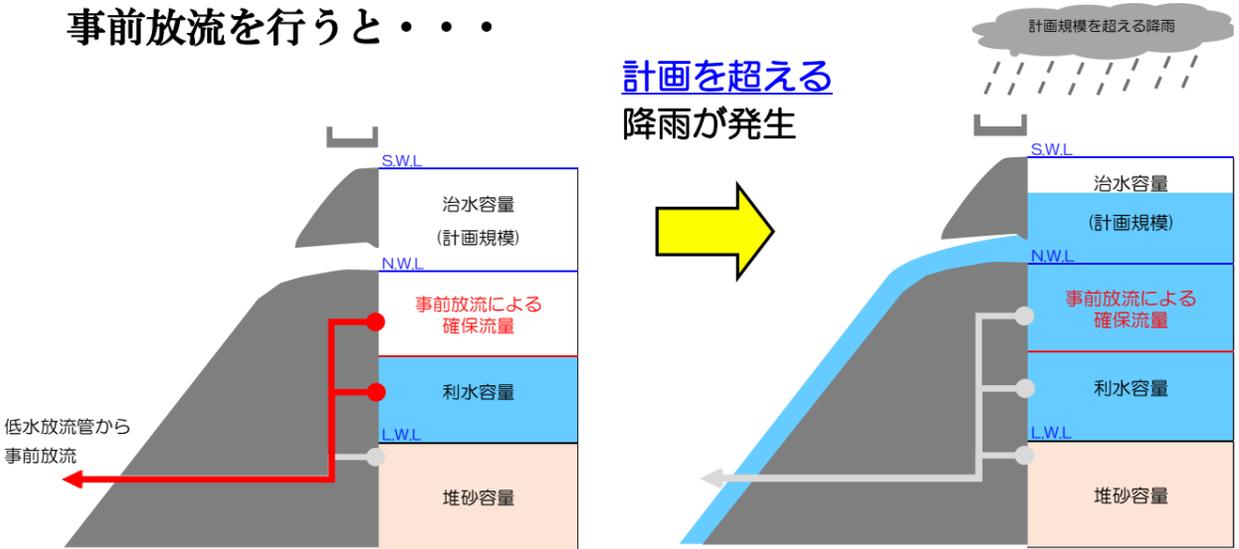


通常のダムの効果は、計画規模以下の降雨に対して、下流の河川を安全な水位で流すことができます。

また、計画規模を超えた降雨が発生し、貯水位がサーチャージ水位（S.W.L.）を超えた場合は、非常用洪水吐きから放流します。

ただし、そのときにもダムに流れ込む以上の水が下流に流れることはなく、ダムによって洪水被害が拡大することはありません。

事前放流を行うと・・・



事前放流を行うことで、利水容量を低下させ、洪水調節容量を増やすことで、計画規模以上の降雨に対しても洪水調節機能を発揮し、被害の軽減を図ることができます。